



■■■ 建石センター長、GIS 名誉上級技術者 ■■■

～長年のリモートセンシングへの功績が認められて～

2015年7月17日、四ツ谷の主婦会館プラザエフにおいて、地理情報システム学会 GIS 資格認定協会主催の GIS 名誉上級技術者称号贈呈式が開催され、建石センター長が矢野桂司地理情報システム学会長より GIS 名誉上級技術者の称号を授与されました。本贈呈式では、野々村邦夫日本地図センター理事長、浅見泰司東京大学教授、太田守重国際航業株式会社フェローを含め計4名が称号を授与されました。

GIS資格認定協会によると、「この称号はGIS分野に長年携わり、社会的・学術的な貢献が顕著で、当該分野の発展・普及に著しい功績が認められる方々に贈呈する称号である。」本称号は、25年以上のキャリアがあり、学会長などを務めた人を対象に関連学会から推薦を受けて選考されます。建石センター長の場合は日本リモートセンシング学会から推薦を受けていました。

ひまわり “が” タネプロジェクト ～静止気象衛星ひまわり 8号正式運用記念イベント～



2014年10月に打ち上げられた「ひまわり 8号」は、従来のひまわり 7号と比べて観測の頻度・チャンネル数・解像度が向上し、その観測データは膨大な情報量となっています。千葉大学環境リモートセンシング研究センター (CEReS) は、研究向けデータ提供機関として、気象庁より既にひまわりデータ提供を受けています。ひまわり 8号は7月7日に正式運用が開始されました。CEReSではこれを記念して同日14時より記念イベントを開催し、ひまわり 8号に携わる以下の方々に講演を行っていただきました。

- ・ 吉崎徳人 (気象庁観測部気象衛星課) : 「ひまわり 8号の概要」
- ・ 樋口篤志 (千葉大学 CEReS) : 「ひまわり 8号の環境研究利用」
- ・ 村田健史 (情報通信研究機構 サイエンスクラウドチーム) : 「ビックデータ/クラウド技術から見たひまわり 8号の魅力」
- ・ 安部大介 ((株)ウェザーニューズ) : 「民間気象情報会社から見たひまわり 8号の魅力」
- ・ 竹中栄晶 (NPO 法人太陽放射コンソーシアム/JAXA・EORC) : 「衛星観測データに基づく太陽放射量の推定そして太陽熱利用及び太陽光発電出力の準リアルタイムモニタリング」

気象庁の吉崎氏からはひまわり 8号の性能や新しい観測方法について、千葉大学 CEReS 樋口准教授には研究利用に向けたひまわり 8号データアーカイブとその利用についての説明していただきました。ひまわり 8号の膨大な情報を一般の方にも簡単に見ていただくため情報通信研究機構 (NICT) サイエンスクラウドチームでは web アプリを開発し、その利用法について NICT 村田氏に説明していただき

ました。民間気象会社としてのひまわり8号利用についてはウェザーニューズ(株)安部氏に講演をしていただき、航空気象サービスやゲリラ豪雨の補足向上に向けた取り組みについて紹介していただきました。JAXA/EORCの竹中氏にはひまわりデータの研究利用として太陽放射量の推定・太陽光発電出力を準リアルタイムでの提供について説明していただきました。

7月7日の正式運用に合わせて、千葉大学附属図書館の玄関ではひまわり8号の豊富な情報量をもとに描かれたリアルタイムの美しい全球観測の映像を、高精細な4K解像度ディスプレイ6枚で構成された大画面を用いて展示を行っています。一般にひまわりの画像はテレビの気象情報等で目にすることはありますが観測画像そのものをじっくり眺める機会は多くありません。今回のイベントでは多くの参加者、特に千葉大学の学生にひまわり8号観測画像の高精細さを体験していただくとともに、千葉大学環境リモートセンシング研究センターが衛星データのアーカイブ・公開を行っていることを広く知っていただくことができました。また各種取材もあったことで、より一般の方々にもメディアを通じてCEReSを知っていただいたのではないのでしょうか。この大画面ディスプレイを用いながら観測事例についての説明やひまわり利用の可能性について議論を行うことができ、皆様と充実した時間を共有できたこと、また、ご多忙なところご協力いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。



今秋10月末まで展示予定



■■■ けやき倶楽部の皆様、CEReS見学される ■■■

2015年7月10日(金)に、けやき倶楽部(千葉大学生涯学習友の会)の方々によるCEReS見学会がありました。けやき倶楽部の皆様は生涯学習を通し、千葉大学、地域社会との連携を図り、地域課題に取り組む活動をされています。(けやき倶楽部ホームページより)今回はさまざまな自主活動グループがあるなかで、環境グループの皆様が企画され、当センターを見学されました。

当日は午後の暑い時間帯にもかかわらず多くのメンバーがお集まりになり、CEReS全体的話から、現在進めている研究(土地被覆・合成開口レーダ搭載小型人工衛星の開発・ひまわり8号データアーカイブ・ライダーによる大気観測など)の説明とともに、当センター3か所の研究施設を順番に見学されました。なかでもセンターの前身から中核として位置している研究棟はエレベータもなく、屋上の観測装置を見学していただくには日差しも強く非常に過酷な条件となりましたが、皆熱心に耳を傾けていただき、あっという間の2時間半でした。これからも、皆様のお役に立てるよう一丸となって研究に邁進してまいります。